

じっくり心をこめて

スロー フード

89



ソーセージと卵の ピーマン詰め焼き

ピーマン嫌いの子どもでも、チーズやウインナーを使ってひと工夫すると食べられるようになるかも！

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材料 (2人分)

- ・ウインナーソーセージ 4本
- ・とろけるスライスチーズ 2枚
- ・ピーマン 4個 ・卵 2個 ・マヨネーズ 大2
- ・塩、コショウ 少々

作り方

ソーセージは縦半分に切り、格子に切り込みを入れる。

卵はかたゆでにして殻をむき、白身は粗みじん切りにする。黄身はつぶして、マヨネーズ・塩・コショウを加えて混ぜる。

ピーマンはへたを残したまま縦半分に切って種をとり を詰め、 をひと切れずつのせる。

チーズはちぎって にのせ、オーブントースターで4～5分こんがり焼く。

せきかわ文芸

俳句・川柳

俳句

里山の 新緑はえて ホトトギス

大塚 冲正(中束)

あじさいの花もほころぶ 今日も雨

大塚 冲正(中束)

短歌

五十年前にもこの途行行子

変らぬものは鳥と谷地原

佐藤 庄七
(愛広苑)

杖付けど誘い誘われひと日旅

由良温泉の海も穏やかに

須貝 恵美
(高田)

猛暑には力を抜きて萎えたまま

朝顔の蔓空へ空へと

小池 啓子
(下関)

雷鳴の轟く中をひんがしの

山に火のごと虹立つを見ゆ

渡辺千恵子
(上関)

窓外のパノラマ模様美しき

日の出とともに病室に入り来る

松田 栄一
(上関)

関川俳句の会作品

初夏の風枝豆茹だる香を乗せて

渡辺しづい

梅雨出水田畑荒して去りにけり

渡辺しづい

窓辺来て鳴くや月夜の時鳥

渡辺しづい

それぞれに過し方あり梅雨の日々

南 セツ



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

最近の活動

小大蛇の製作作業に参加！

六月二十五日・二十六日の二日間、学生二十四人、事務局員一人、OB・OG会員七人の計三十二人が、関川村で廃校になっている安角ふれあい自然の家（旧安角小学校）にて、六月一日から行われている小大蛇



小大蛇製作は難しかったあ

の制作作業のお手伝いをさせていただきました。この活動前にも、事前に竹取りや準備をしていたいただきありがとうございます。



交流会、盛り上がりました

大したもん蛇まつりの当日や、まつりの運営は以前より参加させていただいていましたが、今回の活動は事前準備から関わらせていただき、まつりに何度も行った事があるという学生も、今までと違った新しい経験ができました。どもんこ祭りの際に提案させていただいたビジネスプランについても、引き続き話をする機会もあり、村民の方との交流会（球技大会・BBQ等）を行った事で、より関川村とIVUSAの関係がより密で継続的になっていければと思います。

絆の深まる夏にしたい！

胴体作りの為に、持ち帰らせていただいた骨組み・藁は、関東、関西に分けて、夏までに制作して行きます。

IVUSAでは、大したもん蛇まつりに向けて『また来よう、関川』をコンセプトにしました。

活動を村の人と楽しみ、また来年も行きたいな！、「卒業しても友達と行きたいな！」と思う学生を増やすことを目標に、準備を進めています。毎年行っているまつりのお

手伝い、村の方との交流会等は勿論ですが、今年度は新しい企画も学生で考えていますので、一味違った、更に絆の深まる夏にしたいとIVUSA一同考えています。



今年も大勢で参加します！

せきかわ文芸

せきかわ川柳会作品「反応」「深い」

- | | | |
|------------------|----|-----|
| 梅雨ありて紫陽花の色極まれり | 南 | セツ |
| 飛ぶ鯉行く手誘うか右左 | 南 | セツ |
| 朝市に媪にぎわう夏帽子 | 渋谷 | くに |
| 盛り上がる老人会の初夏の宴 | 渋谷 | くに |
| 店々のいか焼く匂ひ初夏の風 | 渋谷 | くに |
| 米沢の土産にうこぎ苗求む | 青木 | 慶一 |
| 子かまきり腕に止まるをそつと吹く | 青木 | 慶一 |
| 立葵茎かたむけて咲きにけり | 青木 | 慶一 |
| どっこいしょ立ったとたん用は何 | 渡辺 | しづい |
| 大農具買うとでつかい穴がある | 渡辺 | しづい |
| 山菜につられ山奥迷いこみ | 渡辺 | しづい |
| 深い愛辛苦と共に八十年 | 本間 | イミ |
| 反応を確め医用治癒となる | 本間 | イミ |
| 深緑庭の樹木に深呼吸 | 本間 | イミ |
| 飼い主の反応見つ走る犬 | 南 | セツ |
| 追伸に深い愛ある母の文 | 南 | セツ |
| 悲しみの深さが残る避難の子 | 南 | セツ |